

職場ストレスの改善に向けて

日立AP清水事業所
と関連会社で働く
人のネットワーク



2010年5月
No. 29
発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL
090-9121-0602

職場ストレス原因

調査結果より

第一生命経済研究所が2007年に行った「全国の20〜59歳の会社員800名に聞いた『職場のコミュニケーションに関するアンケート調査』の結果によると、「職場における内容別ストレス」は下のグラフのようになりました。

その結果は、「仕事そのもの」、「責任感」、「組織風土」、「人間関係」、「昇進地位」の順でストレスありが多くなっていました。また、人間関係以外のストレスについては、女性より男性で、非正社員より正社員で多くなっていますが、人間関係のストレスについてはそうした属性による差がないのが大きな特徴です。

さらに、この調査結果より、信頼性やチームワークがある職場ではストレスが低く、権威的職場や競争の激しい職場ではストレスが高いということが報告されています。

このように、チームワークがある職場、つまり、連帯感がある職場に関しては、ストレスが低いということが明らかにされています。ここ数年、成果主義の導入により、競争の激化が生じてしまい、個々や部署間の連携がとりにくく、コミュニケーション不足が生じています。

職場ストレスを低くするために、連帯感のある職場を形成できる施策が必要とされています。

